

診療情報に関するお知らせ

『研究課題名 手術室入室時に異常高血圧を示した症例の検討(後方視的観察研究)』

【研究の背景および目的】

高血圧は脳卒中および心疾患発症のリスクが高いことが知られており、降圧剤を毎日服用し最適な血圧にコントロールすることの重要性が広く知られています。しかしながら、降圧剤を飲んでもなかなか最適な血圧が維持できず、さらに手術やなれない環境での緊張が加わり、異常高血圧という高い血圧のまま下がらないことがあり、予定手術を行うことが危険と判断し、手術中止という苦渋の決断をすることがあります。もしくは病状の進行具合などから、血圧が高く危険ではあるものの手術を続行するという判断をすることもあります。患者さんにとっていい点悪い点を現場の医師や医療スタッフが検討し決断しています。

そこで、東邦大学医療センター大森病院麻酔科では、血圧高値により予定手術が中止もしくは続行となった患者さんについて調べることで、今後手術直前に中止となる患者さんの特徴を把握し、より早期に介入することで、患者さんを安全に入院、手術、退院、そして元の生活にという流れを確立することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後入院される患者さんのより安全な手術につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2012年～2018年までに東邦大学医療センター大森病院において、手術を予定され、血圧高値のため手術中止もしくは続行となった症例(約250例)を対象とします。

患者さんの年齢、降圧剤の種類や降圧剤の種類、他心臓や腎臓などの合併症の有無、予定手術中止後の降圧療法や再手術の時期、心血管合併症の有無について診療録(カルテ)から抽出します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

当研究には一部利益相反の状態がありますが、それに対して適切な対処がなされていることが施設内の委員会で確認されています。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

麻酔科

職位・氏名 講師・里元 麻衣子

電話 03-3762-4151 内線 6745